



一年を振り返って

会長 三河 聡

二〇一三年、東京オリンピック、第十六回パラリンピック開催が正式に決定され、バブル崩壊以降、東日本大震災、世界ではフィリピンでの台風による災害等、明るい話題が少ない昨今、日本を取り巻くあらゆる分野での景気回復傾向に少し期待を持てる話題が増えて来たように思います。

野洲市手をつなぐ育成会では、各関係機関のご協力をいただきながら、今年度においても、東近江市で盛大に開催された第四十八回滋賀県知的障がい者教育福祉振興大会への参加、夏季においては、コミセン祇王において、

こと、会員みんなが共有し、野洲市をつなぐ会として発信することが、今必要に思われます。その情報共有できる場を大切に、より一層育成会活動を、みなさまと共に行っていく一年と考えております。

宿泊体験、今年に入り一月には寄せ植え教室開催、野洲市関係機関における各種会議への参加等、会員は基より、野洲市及び地域社会への積極的な活動を行って参りました。ただ、今年度予定していた、研修活動である事業所見学では、台風の影響により中止せざるをえない状況となりました。



茶話会やっています(毎月第2土曜10時から)

今後、野洲市においても、私たち当事者団体の要望や意見を参考に、充実した福祉社会に向け多角的な整備がなされるものと考え、会員一同の今後の取組みが非常に重要な時期であると考えています。

本当に必要なであると思われるサービス等、私たちが日頃より感じている人権及び基本的自由の完全かつ平等な享有を促進し、保護し、及び確保すること並びに障害者の固有の尊厳の尊重を促進することを目的とし、いわゆる「合理的配慮」や、教育に関しては「インクルーシブ教育システム」等の理念を提唱する内容となっております。

さて、現在の学校ですが、可能な限り障がいのある子が障がいのない子とともに教育を受けられるように配慮され、「できる」「できない」という視点ではなく、それぞれの子どもの可能性をさぐる視点で、どのような手だてと支援、指導法等の改善をすればよいのかを各校それぞれに考えられた指導が展開されているように思います。

一人ひとりの子どもの特性等もあり、個々に応じた指導はどうあるべきか考慮されている現状も見受けられます。保護者との十分な相互理解が必要になってきているように思います。

力を合わせて暮らしやすい野洲市を

郷 悟 久 役 相 談

二〇一四年一月二十日、我が国は国連での「障害者の権利に関する条約」の締約国になりました。「障害者基本法の改正」「障害者総合支援法の改正」「障害者差別解消法の成立」「障害者雇用促進法の改正」に伴い、国内の法律が条約の求める水準に達したとして、昨年の十一月、十二月の衆参両院全会一致で締結が承認され、批准されました。

同条約は、すべての障害者によるあらゆる

さて、現在の学校ですが、可能な限り障がいのある子が障がいのない子とともに教育を受けられるように配慮され、「できる」「できない」という視点ではなく、それぞれの子どもの可能性をさぐる視点で、どのような手だてと支援、指導法等の改善をすればよいのかを各校それぞれに考えられた指導が展開されているように思います。

一人ひとりの子どもの特性等もあり、個々に応じた指導はどうあるべきか考慮されている現状も見受けられます。保護者との十分な相互理解が必要になってきているように思います。

ところで、本市の場合、市長はじめ行政各担当部局の深いご理解で、他に

私には師匠と呼べる人が二人います。自転車と盆栽の師匠です。この二人から教えてもらったことです。「それくらいできて当たり前」とよく言うが、当たり前前のことまで一人前。当たり前前と簡単に言うけれど、当たり前前のことができていない人は山ほどいる。当たり前前ということです。だから人によって当たり前前がちがいます。A君が期待される当たり前前と、Bさんのそれは違うのです。みなさんはこれから先も、「これができて当たり前」と言われるでしょう。ただ、こころをなげればならないことがあります。それは、この社会が、残念ながら私たちがこのことを想定して設計されていないということです。だから、この社会の当たり前前、私たちのものではありませぬ。そして、この社会で当たり前とされることのできないからといって、気にすることはありませぬ。大切なことは、あなたのことをよくわかってくれる親たち、先生たちが期待する当たり前前ができるようになればいいのです。そして、それが一人前になるということです。

野に咲く花のように

副会長 井上 智子

市内の小中学校の特別支援学級および野洲養護学校の小中学部で卒業を迎えられるみなさん、ご卒業おめでとうございます。

毎年行われる卒業を祝う会の最後に全員で「野に咲く花のように」の歌を歌います。タンポポやカラスノエンドウ、ウンハコベにムラサキサキゴケ。春に咲く野の花だけでも数えきれません。でも、その一つひとつにちゃんと名前がついています。そして、黄や薄紫などその花だけが持つ色や花びらの形でさらさらと美しく咲いています。小さいけれど野の花たちは地面にしっかりと根を張り、毎年春になると忘れず精いっぱい自分の命を輝かせます。その姿は人を爽やかにしてくれました。

当たり前前というけれど

井上 善之

を広げ、自分というたった一つだけの命の花を輝かせてください。



小・中学生宿泊体験

地域との絆を深める宿泊体験

八月十七日(土)・十八日(日) コミセン祇王において第二回小・中学生宿泊体験交流会が開催されました。

一日目は夕食前に集合し、始まりの会で自己紹介をすませ施設の中を探検します。その後みんなで美味しい夕飯をいただきます。

二日目は朝食前にみんなで散歩に出かけ、その後朝食をいただき、最後に掃除を済ませて解散となりました。

昨年からの宿泊体験事業ですが、知らないところで普段は違う学校に通っているお友達と一緒に一夜を共に過ごすという、新しいことを苦



めにおいしなお食事を用意してくださる地域の民生委員さんをはじめ、たくさんの方々の協力を得てこの事業が開催されたことです。

地域の方々と交流する機会がないので、地域の方々に理解をいただくという意味では、寝食共にしていたことが一番だと思えます。たとえ一泊だけでも、お互いに体験になったと思います。子どもたちが眠った後は、ボランティアで来てくださった先生方を交えての親睦会もあり、普段ゆっくり話せないようなことや、他の学校の様子を聞いたりして、保護者同士の親睦も一段と深まったように感じました。



研修会 寄せ植え教室



親子ペアで一つの作品をわくわくしながらつくっていく寄せ植え。今年も「春まで楽しめる寄せ植え」教室として小松清子さんを招き、一月二十六日 コミセン祇王で実施しました。

●参加者の声から
「楽しいかったです。」
「きれいにできてよかったです。」
「あつという間にかわいい寄せ植えができてうれしかったです。」
●昨年や一昨年に植えた花も元気に育っている。毎年楽しみに参加しています。」



寒くなり始めた十二月一日、私と息子と二人で親睦旅行に参加させていただきました。海遊館には、行ったことがありましたが、育成会から参加させていたのは初めてでした。知り合いの少ない中、すこしドキドキの私達親子。バスに乗って、三上山が後になる頃、お隣の席の先輩親子さんから笑顔で「館、どうぞ。」のお声掛けが、「ありがとうございませう。」と、私、すこし恥ずかしそうなお声掛けが、「ありがとうございませう。」と、お渡

2013(平成25)年度 野洲市手をつなぐ育成会 事業報告

Table with 3 columns: 月 (Month), 日 (Date), 事業内容 (Activity Content). Lists various events like meetings, sports events, and field trips throughout the year.

親睦旅行 海遊館行きのバスのなかで

それが、きつかけとなり、周りの方々ともお話しすることができました。海遊館の見学の後、息子と二人でお菓子を選びました。帰りのバスの中、しし喜んでいただくことができました。人と人が「つながる」には、ネットやラインなど、様々な方法がありますが、日々変化していきま



○手をつなぐ育成会には多くの方々の温かい協賛をいただいております。ありがとうございます。今後ともよろしくお願ひします。